

～不審者対応訓練を終えて～

生活指導部 黒田兼正

6月12日(月)に学校内に不審者が侵入したという想定で、三田警察の方々の協力を得て不審者対応訓練を実施しました。「受付に荷物が届きました。児童の皆さんは先生のいる近くの教室に入りましょう」の放送で訓練が始まりました。教室にいる児童は不審者に見つからないように身をかがめて静かに待ちます。声を出して不審者を刺激しないようにします。本番では、不審者役の三田警察の方が木刀を持ちながら大声を出して暴れまわっていましたが、児童は一生懸命に身を潜めて、安全を確認することができました。

今回は学校に不審者が侵入したという想定でしたが、実際に子供たちが不審者に遭遇する確率は学校以外の場所が多いと予測できます。校長の話の中で「自分の身は自分で守る」という言葉がありました。もし、不審者に遭遇してしまったときに、どのようにして「自分の身を守るか」をあらかじめ考え、いざという時のために備える必要があります。

そろそろ夏休みが始まり、学校以外の場所で過ごすことが増えます。是非、御家庭でも不審者対応について話し合ってくださいと幸いです。

～今年度の研究について～

研究主任 岩田 寛子

すすんで考え、学び合い、思考を深める児童の育成
～国語科における話す・聞くを通して～

6年
筆者の意図をとらえ、
自分の考えを発表し
よう



今年度、本校では上記を研究主題として掲げ、児童の「話す・聞く」力がさらに身に付くように研究し、指導に生かすようにしていきます。6月28日は、今年度最初の研究授業が6年1組で行われました。説明文から筆者の意図や説得力のある書き方の工夫等を読み取り、自分の経験や具体例を入れながら自らの考えを文章に表現して友達に発表する活動でした。芝小の子供たちの話を聞く姿勢はとても立派です。筆者の考えや様々なことについて自分がどう感じ、どのような言葉で伝えていくかを考え、「対話的な学び」ができる児童を目指し、研究をすすめていきたいと思えます。

私は「心の時間」について
筆者の考えに
共感しました。...



委員会・クラブ紹介

《保健委員会》

保健委員会担当 森木園 幸子 齋藤 文子



保健委員会の活動内容は、保健室の掃除・石鹸の補充・水の検査・嘔吐用袋・健康啓発ポスター等、子供たちが健康に、そして安全に過ごせるために日々活動しています。運動会のリボンも安全確保のために保健委員会の子供たちが切って輪ゴムに結んだものでした。また子どもまつりに向けて会場で混乱してけが人がでないようにスタンプカードを作成しています。輪ゴムでけがしないようにテープで固定する等、全校の安全を考えながら作成しています。保健委員会の子供たちは毎日生き生きと活動しています。

《手芸クラブ》

手芸クラブ担当 岩田 寛子 岩崎 舞



手芸クラブは、今年度からできたクラブ活動です。4月の最初の活動日には、「どんな活動をしていきたいか」を話し合いました。「マスコットを作りたい」「マフラーを編んでみたい」「学期末には作ったものをみんなに見てもらいたい」など、意欲をもって取り組もうとしている様子が見られました。クッションカバーや、肩掛けカバンなどのものを毎月1回、45分間の時間で集中して製作をしています。どんな作品が完成するか、今から楽しみです。